

長研だより

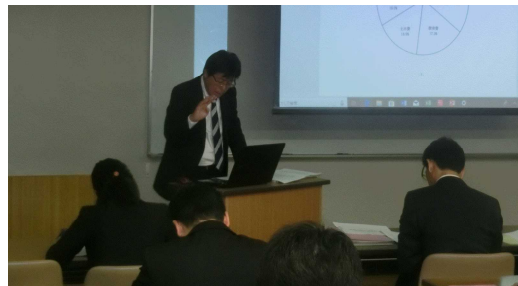
No. 5

発行日
令和元年12月13日（金）

企画管理課長講話

11月27日（水）に、飛田和宏課長の「行政における予算執行について」というテーマの講話がありました。

基本用語の説明から、予算成立の過程、執行において注意することなど予算に関する様々なことを学びました。「学校が動いていることは同時にお金も動いている。」「日々の教育活動を円滑にするためにも適正な予算執行が大切である。」ということに改めて感じた研修でした。



特別支援教育課長講話

12月4日（水）に、藤森幸子課長の特別支援教育に関する講話がありました。

「その子が抱える困難さに着目すれば支援が見えてくる。そして、代替という発想が必要である。」との話があり、これからの特別支援教育に必要な考え方について学ぶことができました。長期研修生からは「熱心な無理解者にならないように、児童生徒に寄り添った支援を行いたい。」との感想が聞かれました。



長期研修（3か月）研究発表会

12月9日（月）に、長期研修（3か月）の研究発表会を行いました。本年度の発表会の目標は「聴き手に思いが伝わるプレゼンをする。」でした。

長期研修生は、当日の朝は緊張した面持ちでしたが、自分の順番がくると、堂々とした態度でプレゼンを行うことができました。聴き手の方を向き、相手意識をもって自分の実践のよさを伝えることができていました。プレゼンを終えた長研生には、達成感と清々しい表情が見られました。

今回の発表時間は20分間でしたが、「授業の分析と考察」により多くの時間を配分するとよかったという課題が残りました。今後も様々な場所で発表する機会があることと思います。さらによいプレゼンができるように残りの期間研修を積んでいきたいと思えます。



早いもので、長期研修も残すところ、2週間となりました。これまで朝の会でスピーチやプレゼンの練習を行ってきましたが、長期研修生の「伝える力」は確実に向上しています。研究発表会後の代表挨拶では、心からの感謝の気持ちが伝わるものでした。プレゼンテーションは技術だけではなく、心が大切であり、その人の人間性が出ます。学校現場に戻っても、児童生徒や保護者の心に響く話をされることを期待しています。